

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	高槻市立療育園 放課後等デイサービス
------	--------------------

公表日

令和7年3月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別の部屋や場所は設けていませんが、必要時支援ルームから出たり（廊下や公園に移動するなど）、カーテンで空間を仕切ったりする工夫は行っています。	トイレに関しては環境整っていますが、クールダウンや場面を分ける必要がある際の個室がありません。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	定期的に会議を開き、どの職員も話しやすい雰囲気づくりをしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		今後導入に向け、検討していく必要があります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間の共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	日々の行動観察など支援の記録はしており、個別支援会議等で得られる情報(アセスメント)も加味して、次の支援計画を考える基盤にしています。	当デイを利用される方は、主にK式などの発達検査結果がフォーマルなアセスメントに該当される方が多いと思われます。発達検査等の結果は全員に確認できておらず、支援計画に反映できていない部分はあるかもしれません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	打ち合わせができない日もあるため、日案を掲示することで内容や役割分担を共有するようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	振り返りが当日にできなくても、会議等で共有するようにしています。	送迎業務が長引くと特に振り返りの時間が持てなかったり、時差勤務の職員への情報共有が不十分だったりしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	1		「4つの基本活動」を把握できていませんでした。確認の上、再考します。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		医療機関の退院調整会議は定例化されてきているように思いますが、ガイドラインに沿ったシステム化はできていません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		以前は行われていましたが、今は該当者もおらず、出来て（実施して）いません。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	個別にセラピストに助言をもらったり、相談したりしているケースがあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	地域には積極的に出かけており、近隣や公園などで地域の人と触れ合う機会は大切にしています。	近隣に児童館はなく、児童クラブとも接点がないため、積極的な交流が大変難しいのが現状です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		・園としては参加していますが、放デイ事業としての関わりは薄いのが現状です。 ・研修等で代表者が参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		相談に応じているケースもありますが、面談の場を設けたり、具体的な支援を行うまでには至っていません。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		保護者同士が繋がれるような場を設ける必要性は感じています。一方で保護者の負担を増やさないことも大切で、場や機会の設け方には苦慮しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	0	6		・不定期ながら行事等のお知らせは行っています。 ・直接、送迎時に口頭で伝えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		・保護者には周知をしていますが、全職員が研修を受けています。 ・今年度は災害時を想定した引き渡し訓練を実施しました。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3	安全計画は、園の玄関ホールに掲示して公表しています。	安全計画に基づく取組内容についての周知までは至っていません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		身体拘束の施設内研修を行い、職員の周知徹底を行っています。今後は利用者への説明と同意を計画書面だけで行うのか、具体的方策を決めていく必要があります。